

改訂日 2024年04月18日

作成日 2022年02月14日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

製品名

: ラスカン MC-511

会社名

: カンエイ産業株式会社

住所

: 〒581-0052 大阪府八尾市竹淵2丁目136番地

担当部門

: 本社 研究室

電話番号

: 06-6708-7517

FAX番号

: 06-6708-0008

メールアドレス

: kan-ei@msd.biglobe.ne.jp

緊急連絡先

: 06-6708-7517

推奨用途及び使用上の制限

:

【2. 危険有害性の要約】

G H S分類

物理化学的危険性

引火性液体

: 区分2

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

: 区分4

眼に対する重篤な損傷性／

眼刺激性

: 区分2

生殖毒性

: 区分1B

特定標的臓器毒性

（単回ばく露）

: 区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）、区分3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性

（反復ばく露）

: 区分1（中枢神経系、視覚器）

G H Sラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体及び蒸気

飲み込むと有害

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害（中枢神経系、視覚器、全身毒性）

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（中枢神経系、視覚器）

注意書き

【安全対策】

: 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を設置しアースをとること。

防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

【応急措置】

: 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

飲み込んだ場合：直ちに医師／毒劇物センターに連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師の診察／手当てを受けること。

- 【保管】
- ：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ：施錠して保管すること。
- ：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 【廃棄】
- ：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- 【使用上の注意】
- ：安全データシート（SDS）を参照して下さい。
- 注）上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、現時点で「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	： 混合物		
官報公示整理番号（化審法）	： 有り		
官報公示整理番号（安衛法）	： 有り		
成分及び含有量			
成分	含有量（％）	CAS 番号	
メタノール	95	67-56-1	
含窒素複素環化合物	非公開		

【4. 応急措置】

- 吸入した場合
- ：新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合
- ：すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合
- ：直ちに水で眼を洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、洗い始めて5分経ってからはずし、さらに15分以上洗眼を続ける。迅速に医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。
- 飲み込んだ場合
- ：口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- 予想される急性症状及び遅発性症状
- ：上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目 11 の有害性情報に記載されている。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤
- ：二酸化炭素(CO2)、泡、粉末消火剤、砂
- 使ってはならない消火剤
- ：利用可能な情報はなし。
- 特有の危険有害性
- ：熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。蒸気は空気と爆発的混合物を形成することがある。
- 特有の消火方法
- ：利用可能な情報はなし。
- 消化を行う者の保護
- ：個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- ：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項
- ：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- ：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策
- ：環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- 技術的対策
- ：火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
- 安全取扱注意事項
- ：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 接触回避
- ：静電気放電(有機物の蒸気を引火させう)を避けるために必要な措置をとる。個人用保護具を着用

すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

保管

- 安全な保管条件
- : 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。施錠して保管。
各国の規定に従って保管する。

- 安全な容器包装材料
- : 次の製品種類といっしょに保管しない：強酸化剤。
ガラス、鉄

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度
- : 200 ppm（メタノール）

- 許容濃度
- 日本産業衛生学会
- : TWA : 200 ppm、TWA : 260 mg/m³ OEL Skin、ISHL/ACL : 200 ppm（メタノール）
- A C G I H
- : TWA 200 ppm（260 mg/m³）、STEL 250 ppm（メタノール）

- 設備対策
- : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

- 呼吸器用保護具
- : 有機ガス用防毒マスク（JIS T 8152）
- 手の保護具
- : 化学防護手袋（JIS T 8116）
- 眼、顔面の保護具
- : 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）（JIS T 8147）

- 皮膚及び身体の保護具
- : 長袖作業衣

- 特別な注意事項
- : 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。
安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

【9. 物理的及び化学的性質】

- 物理的状態
- : 液体
- 色
- : 微黄色
- 臭い
- : 刺激臭
- 融点・凝固点
- : 情報なし
- 沸点又は初留点および沸点範囲
- : 情報なし
メタノール 64.6℃

- 可燃性
- : 情報なし
- 爆発下限界及び爆発上限界／
- : 情報なし

- 可燃限界
- 引火点
- : 11℃（セタ密閉式）
- 自然発火点
- : 464℃

- 分解温度
- : 情報なし
- p H
- : 5.6（原液 25℃；代表値）
- 動粘性率
- : 情報なし

- 溶解度
- 水溶解度
- : 可溶(易溶)
- 溶媒溶解度
- : 情報なし
- n-オクタノール／水分配係数
- : 情報なし
- (log Pow)

- 蒸気圧
- : 情報なし
- 密度及び/又は相対密度
- : 0.8（20℃；代表値）
- 相対ガス密度
- : 情報なし
- 粒子特性
- : 情報なし
- その他のデータ
- : 情報なし

注記：上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

【10. 安定性及び反応性】

- 反応性
- : データなし
- 化学的安定性
- : 光により変質するおそれがある。
- 危険有害反応可能性
- : 通常の処理ではなし。
- 避けるべき条件
- : 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
- 混触危険物質
- : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物
- : 一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO2）

【11. 有害性情報】

- 急性毒性
- （経口）
- 製品についての情報
- : 情報なし：区分4

成分についての情報 (経皮)	: メタノール：区分4
製品についての情報	: 情報なし：区分に該当しない
成分についての情報 (吸入：ガス)	: メタノール：区分に該当しない : 区分に該当しない 本製品の成分はGHSの定義による固体、または液体である。
(吸入：蒸気)	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報 (吸入：粉塵、ミスト)	: メタノール：区分に該当しない
製品についての情報	: 情報なし：区分に該当しない
成分についての情報	: メタノール：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	
製品についての情報	: 情報なし：区分2
成分についての情報	: メタノール：区分2
呼吸器感作性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：分類できない
皮膚感作性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：区分に該当しない
生殖細胞変異原性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：区分に該当しない
発がん性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：分類できない
生殖毒性	
製品についての情報	: 情報なし：区分1B
成分についての情報	: メタノール：区分1B
特定標的臓器（単回ばく露）	
製品についての情報	: 情報なし：区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）、区分3（麻酔作用）
成分についての情報	: メタノール：区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）、区分3（麻酔作用）
特定標的臓器（反復ばく露）	
製品についての情報	: 情報なし：区分1（中枢神経系、視覚器）
成分についての情報	: メタノール：区分1（中枢神経系、視覚器）
誤えん有害性	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: 情報なし

【12. 環境影響情報】

水生環境有害性 短期（急性）	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	
製品についての情報	: 情報なし：分類できない
成分についての情報	: メタノール：区分に該当しない
その他の有害性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない：当該製品中に含まれる成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため。

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

【14. 輸送上の注意】

国際法規制	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号	: Class 3 /UN1230

IATA	UN Number	UN1230
	Proper Shipping Name/Description	Meyhanol
	Hazard Class or Division	3
	Subsidiary Hazard Class	6.1
	Packing Group	II
IMDG	UN Number	UN1230
	Proper Shipping Name/Description	Meyhanol
	Hazard Class or Division	3
	Subsidiary Hazard Class	6.1
	Packing Group	II
	Additional Information	Not applicable
国内規制	： 下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 陸上輸送 消防法 危険物第四類 アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性 労働安全衛生法 危険物 引火性の物 海上輸送 船舶安全法 告示別表第1 引火性液体類 航空輸送 航空法 告示別表第1 引火性液体類	
輸送の特定の安全対策 及び条件	： 運送容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。 指定数量以上を車両で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げ、消 火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。 第1類及び第6類の危険物及び高圧ガスを混載しない。 緊急時応急措置指針番号：131	

【15. 適用法令】
国内適用法令

： 化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）：該当しない
毒物及び劇物取締法：劇物 包装等級3
労働安全衛生法：メタノール 95%含有
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2）
第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
皮膚等障害化学物質等（規則第594条の2第1項）
危険物船舶運送及び貯蔵規則：引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法：引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
大気汚染防止法：メタノール 95%含有
揮発性有機化合物（VOC）（法第2条第4項）
特定物質（政令第10条第6号）
海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質Y類物質
消防法：危険物第四類 アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性
化審法：該当しない
メタノール（取消）優先評価化学物質（2022.03.31公示）
輸出貿易管理令：該当しない

【16. その他の情報】
【引用・参考文献】

GHS分類結果データベース， 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
Material deta sheet
JIS Z 7252：2019
JIS Z 7253：2019

「記載内容の取扱い」
この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。